

図 目指すべき方向性のイメージ(長期展望)

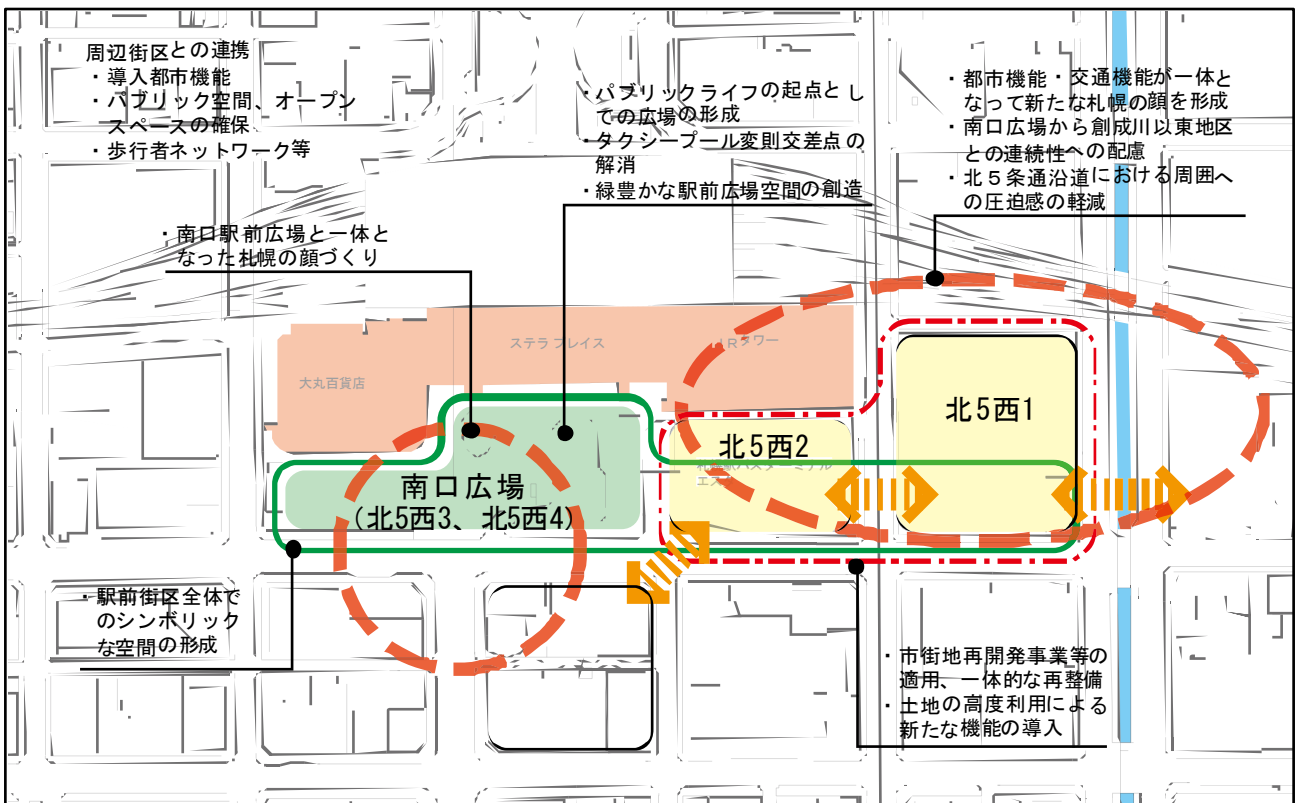


図 札幌駅交流拠点における街区再整備の考え方





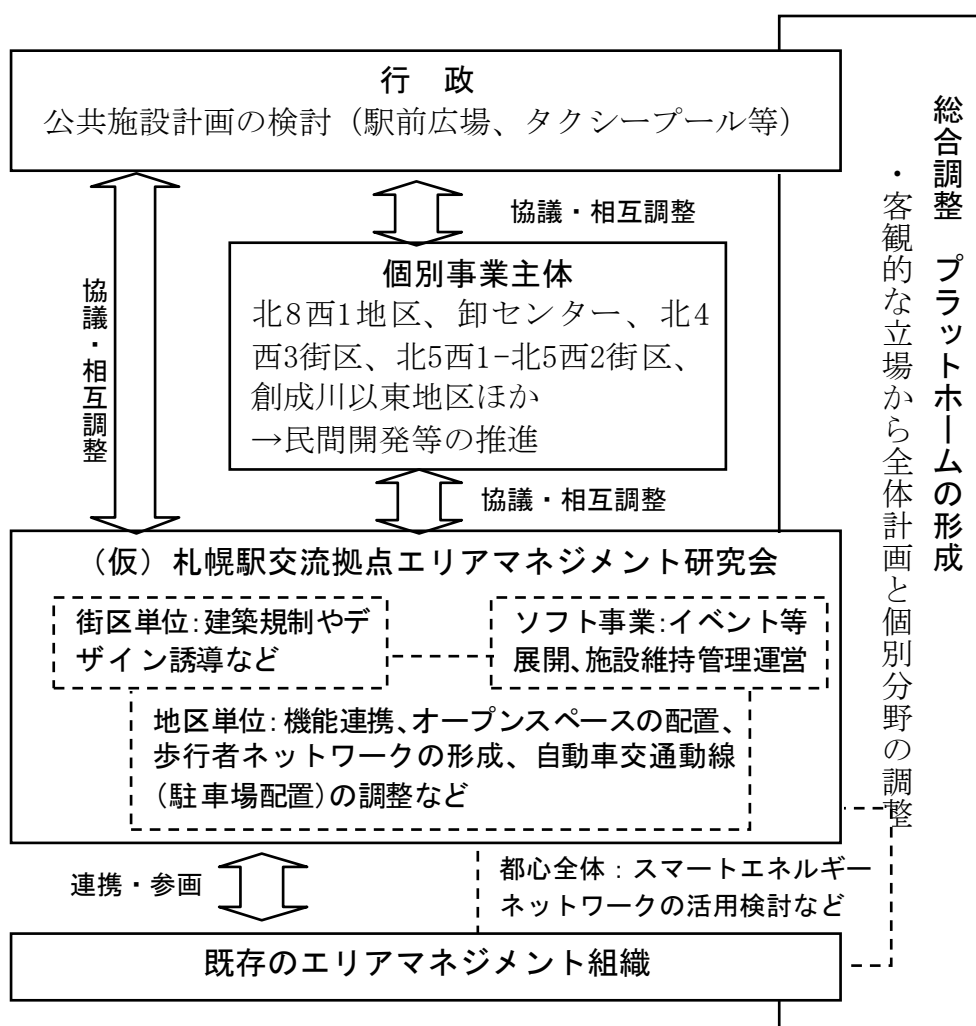
## IV 実現に向けた基本的考え方

### IV-1 札幌駅交流拠点におけるエリアマネジメントの方向性

札幌駅交流拠点においては、“新たな顔”となる北5西1-北5西2街区と既存の“顔”である南口広場は、互いに調和し交流拠点の魅力を相乗的に高めることが求められる。また、街区の再整備に伴う交通結節点の再編やエネルギーネットワークの形成を実効性のある物にするためには、各街区単位ではなく、交流拠点全体としての整備・活用が必要である。このため、街区ごとの個別の事業だけでなく交流拠点全体をマネジメントする取組が求められる。

さらに、交流拠点全体の調和はもとより、周辺街区との調和を図るため、現在開発の動きのある北8西1や卸センター、北4西3街区、さらに今後、事業化が見込まれる北5西1-北5西2街区、創成川以東地区街区などの個別事業主体間の協議の場を設定し、建築規制やデザイン誘導、オープンスペースの配置、歩行者ネットワークの形成、スマートエネルギーネットワークの形成などに向けた取組が求められる。

これらのプロジェクト管理、運営にあたっては、景観、交通、エネルギーなど分野が多岐にわたることから、個別分野ごとでの検討を進めながら全体調整を図る「(仮)札幌駅交流拠点エリアマネジメント研究会」などの体制が必要である。



## 《参 考》

### ■まちづくりの主体・体制：「さっぽろ都心まちづくり戦略」より

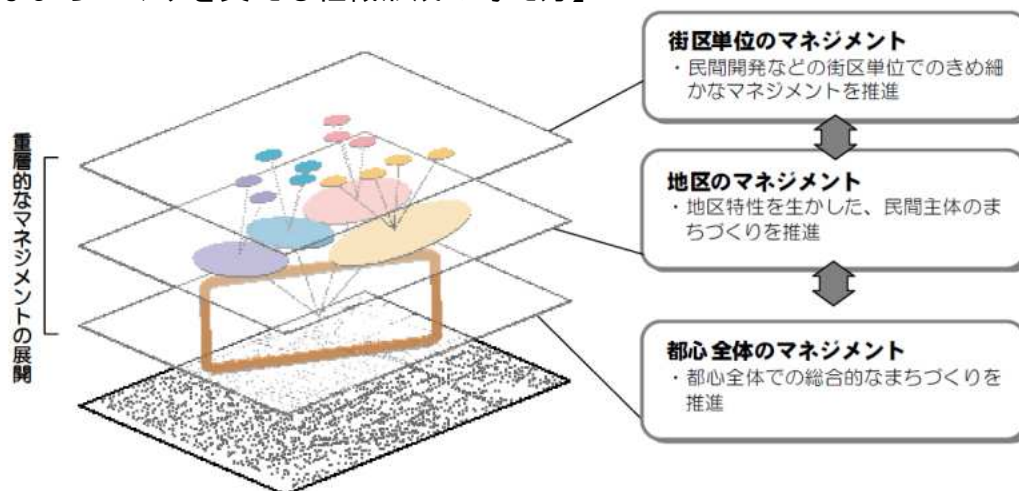
#### 【都心まちづくりの主体の考え方】

目指すべき都心の将来像の実現に向け、事業者や団体、住民、行政などが、それぞれの役割を果たしながら、協働によるまちづくりを推進することが必要となります。

#### 【各主体の担うべき役割】

<b>行 政</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○基幹的都市基盤施設の整備</li><li>○都市開発への支援</li><li>○公共空間の活用に係る支援</li><li>○まちづくり活動への支援</li><li>○まちづくり方針の明確化</li></ul>
<b>地区別 組織</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○まちづくり会社などのエリアマネジメント組織による地域特性を生かしたまちづくり事業の推進</li><li>○まちづくりの将来像を踏まえた都市開発事業などの調整</li><li>○まちづくり活動に関する諸機関との調整</li><li>○地域特性に応じたまちづくりガイドラインの作成</li></ul>
<b>市民・ NPO</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○都心のまちづくりに対する提言</li><li>○都心空間を活用したイベント、文化活動などの企画や運営、参加</li><li>○住民の目線のできるまちづくり活動の推進</li></ul>
<b>個別 事業主体</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○まちづくりの目標・将来像の実現に向けた都市開発の推進</li><li>○周辺権利者などからなる街区レベルのマネジメント体制の構築</li><li>○都市開発を通じた公共貢献</li></ul>

#### 【持続的なまちづくりを支える組織形成の考え方】



## IV-2 事業展開プログラムの想定

事業展開プログラムの例：次回の第7回構想策定委員会のテーマ

	札幌駅交流拠点		都心全体での調整が必要となる事項
	街区単位（個別事業）	地区単位	
STEP 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発熟度が高い街区の早期の事業着手を誘導</li> <li>北5西1-北5西2街区の一体的な再整備に向け、事業手法、事業費などについて関係者間で協議・検討</li> <li>創成川以東地区の事業誘導に向けた関係者間協議の場づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街区間の機能連携やオープンスペースの配置、歩行者ネットワークの形成、自動車交通動線（駐車場配置）の調整など、地区のエリアマネジメント実施に向けた関係者間・事業主体間の協議の場づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートエネルギーネットワークの形成に向けた関係者間・事業主体間の協議の場づくり</li> <li>都心アクセスの強化について、都心での受け止め（土地利用）なども含めた具体的検討</li> </ul>
STEP 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>北5西1-北5西2街区の一体的な整備事業に着手</li> <li>新幹線の整備時期、規模などが明らかとなった場合にも柔軟に対応できる施設計画の検討</li> <li>創成川以東地区でのまちづくりとの連携した事業展開を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリアマネジメント組織による事業間調整</li> <li>電車や新幹線延伸への対応も含め、機能的な交通施設の再配置に駅前街区全体で対応</li> <li>南口駅前広場のタクシープールの変則交差点の解消、北海道らしさを感じる緑豊かな駅前広場空間の創造</li> <li>上空・地上・地下を立体的に活用した歩行者動線の確保、機能の強化</li> </ul>	
STEP 3		<ul style="list-style-type: none"> <li>エリアマネジメント組織による事業間調整、イベント等展開、施設維持管理</li> <li>新幹線連絡口の整備など都市機能と交通機能が一体となって新たな札幌の顔を形成</li> <li>創成川沿道をバス・自動車交通の玄関口としての新たな札幌の顔の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心部におけるスマートエネルギーネットワークの形成</li> <li>都心アクセス強化の実現</li> </ul>